



**ZENMU Virtual Drive
Enterprise Edition
Ver1.1.3**

設定 XML ファイルによるカスタマイズ

株式会社 ZenmuTech

目次

1. 概要	2
2. 設定 XML ファイル「ZVDrive_Config.xml」	2
3. ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition のログファイルの保存期間設定	2
4. 仮想ドライブ新規作成時の既定値の設定と設定画面のカスタマイズ	3
4.1. 仮想ドライブ新規作成時の設定項目	3
4.1.1. 仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定	5
4.1.2. 仮想ドライブ新規作成画面における各項目の変更可否設定	8
5. 仮想ドライブ変更画面における各項目の変更可否設定	9
6. リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーに関する設定	11
7. オフラインストレージの選択リストの設定	13
8. 特定ドライブに対するエクスプローラーでの表示、アクセスの制御の設定	13
9. 運用の詳細設定	15
9.1. 管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブの変更、削除、設定画面の表示を可能とする設定	15
9.2. マウント、アンマウント等のトリガーで任意のプログラムを起動する設定	16
9.2.1. プログラムの起動トリガーとなるタグについて	17
9.2.2. プログラムの起動設定方法の詳細	18
9.2.3. ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition の引数について	20
9.3. アンマウント時に削除するファイルの指定	21
9.4. 仮想ドライブに移動するフォルダーの指定	22
9.5. バッファロー社製暗号化 USB RUF3-HS 使用の設定	23
9.6. 特定のアプリケーションをアンマウント時に終了対象外に指定	23
10. ZENMU モードスタート画面の設定	24
11. 仮想ドライブ作成後の設定変更	26
12. Windows サインイン時に仮想ドライブ作成を促す設定	31
13. フルバックアップを保存する時のデフォルト保存先設定	33
14. システムドライブの空き容量が少ないときに警告メッセージを表示する設定	35
15. 付録	36
15.1. VPN クライアントを ZENMU モードスタート画面に表示する場合の設定方法	36

1. 概要

本ドキュメントでは ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition version1.1.3(以下、ZEE または Ver1.1.3)における、設定 XML ファイル「ZVDrive_Config.xml」による設定方法について説明します。

2. 設定 XML ファイル「ZVDrive_Config.xml」

Ver1.1.3 をインストールすると C:\¥ZenmuTech¥ZVDrive に「ZVDrive_Config.xml」(以下、「設定 XML ファイル」)が作成されます。

「設定 XML ファイル」を編集し、ZEE の新規作成画面、設定画面、動作を設定・制御することができます。XML ファイル形式のため、Windows のメモ帳等のエディターで編集、保存が可能です。

設定は XML のタグ、値、属性値で指定します。本書で定義している以外の XML のタグ、値、属性値を指定することはできません。指定した場合は、有効とならず、ZEE の設定に影響することはありません。

3. ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition のログファイルの保存期間設定

ZEE のログファイル(「C:\¥ZenmuTech¥ZVDrive¥log」フォルダー配下に保存)の保存件数を設定可能です。「設定 XML ファイル」の初期設定値 30 件が設定されていますが、運用に合わせて仮想ドライブ作成後も変更は可能です。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Log>
    <SavePeriod>30</SavePeriod>
  </Log>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Log>

タグ	値
SavePeriod	ログファイルの保存数の値を指定。 例: <SavePeriod> 30</SavePeriod> 保存件数

ログファイルは logYYYYMMDD.txt のフォーマットファイル名で日ごとにファイルが作成されます。ファイル数が指定数を超えた場合は、古いファイルから順に自動的に削除されます。

4. 仮想ドライブ新規作成時の既定値の設定と設定画面のカスタマイズ

4.1. 仮想ドライブ新規作成時の設定項目

仮想ドライブ新規作成時に、新規作成画面で指定する項目と、「設定 XML ファイル」で独自に設定できる項目の既定値を設定することが可能です。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <!-- 仮想ドライブ作成時の初期設定 -->
    <DefaultValue>
      <!-- 仮想ドライブ設定 -->
      <VDriveName          default="ZVDrive ドライブ" />
      <VDriveLetter        default="Z"          />
      <VDriveSize           default="500MB"       />
      <!-- 詳細設定：ZENMU モード -->
      <FolderRedirect       default="on"         />
      <!-- 詳細設定：エクスプローラ上で非表示、アクセス禁止にするドライブ -->
      <NoDriveRemovable     default="on"         />
      <NoDriveHDD            default="on"         />
      <NoDriveCD             default="on"         />
      <NoDriveNetwork       default="off"        />
      <!-- 詳細設定：フルバックアップ -->
      <ReserveBackupArea    default="on"         />
      <!-- 詳細設定：自動ロック -->
      <IdleTimerLockEnabled default="on"         />
      <IdleTimerLockThreshold seconds="1800"    />
      <!-- 仮想ドライブ新規作成時に画面設定不可の項目 -->
      <!-- 仮想ドライブ -->
      <Rollback              default="on"         />
      <RollbackCommitNotifyCycle default="10" add="10" />
      <RollbackCommitNotifyCountDown default="0"   />
      <File1 path_type="file" path="%USERPROFILE%\AppData\Local\ZenmuTech\%USERNAME%.znm" />
      <!-- 外部ストレージ -->
      <File2Secondary default="on" device="usbmemory" path_type="folder" path="E:\Test" />
      <!-- マウント -->
      <SkipPasswordInput      default="on"         />
      <DisMountOnOtherUserLoggedOn default="on" />
      <!-- マウント中のストレージ切断時の動作 -->
      <DisMountOnDevicePlugout default="on"         />
      <LockWindowsOnDevicePlugout default="off"        />
      <WaitSecondsAfterDevicePlugout default="10" add="10" />
      <!-- アンマウント -->
      <AskAppsToExitBeforeUnMount default="off" />
      <KillAppsBeforeUnMount      default="off" />
      <DoNothingForAppExit        default="on"   />
      <DeleteTempFolderOnUnMount  default="off" />
      <!-- Windows のサインアウト、シャットダウン、再起動、スリープ、休止メニューの表示設定 -->
      <WinBtnNoClose             default="off" />
      <NoLogOff                  default="off" />
    </DefaultValue>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

- 仮想ドライブの新規作成画面で設定可能な項目

仮想ドライブの新規作成画面において、カスタマイズできるタグ、及び対応する設定画面の対応は以下になります。

タグ	ダイアログ名	用途
VDriveName	ZENMU Virtual	仮想ドライブ名
VDriveLetter	Drive	仮想ドライブ文字
VDriveSize	仮想ドライブ設定	仮想ドライブサイズ
FolderRedirect	詳細設定	リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダー
NoDriveHDD	ZENMU モード	コンピューター内蔵のハードディスクのドライブ
NoDriveRemovable	エクスプローラー上で非表示、	USB メモリー、リムーバブルディスクのドライブ
NoDriveCD	アクセス禁止にするドライブ	CD/DVD のドライブ
NoDriveNetwork		ネットワークドライブ
ReserveBackupArea	フルバックアップ	PC にフルバックアップ用の領域を確保する
IdleTimerLockEnabled	自動ロック	一定時間 PC の操作が行われなかった際に PC をロックする
IdleTimerLockThreshold		自動的にロックする際の閾値

- 仮想ドライブの新規作成画面で設定不可な項目

「設定 XML ファイル」で値を指定しない場合は ZEE の既定値が設定されます。

以下は、仮想ドライブ作成後に「ZENMU Virtual Drive の設定」で変更可能な項目です。

タグ	ダイアログ名	用途
Rollback	仮想ドライブ	ロールバック設定
RollbackCommitNotifyCycle		ロールバックデータの保存の通知
RollbackCommitNotifyCountDown		ロールバックデータの保存の通知後の自動保存
File2Secondary	外部ストレージ	分散ファイル 2(オフラインストレージ)の設定
SkipPasswordInput	マウント	マウント時、設定変更時の Windows サインインをスキップする
DisMountOnDevicePlugout	マウント中のストレージ切断時の動作	外部ストレージが切断状態になると、仮想ドライブを利用不可にする
LockWindowsOnDevicePlugout		外部ストレージが切断状態になると、Windows をロックする
WaitSecondsAfterDevicePlugout		外部ストレージが切断状態になった際に、仮想ドライブを利用不可にする、または Windows をロックするまでの時間を指定する
AskAppsToExitBeforeUnMount	アンマウント	アプリケーションの終了を確認する
KillAppsBeforeUnMount		仮想ドライブを使用しているアプリケーションを強制終了する
DoNothingForAppExit		アプリケーションの終了を行わない
DeleteTempFolderOnUnMount		アンマウント時に Windows の一時ファイルを削除する

以下は、仮想ドライブ作成後は**変更できません**。

タグ	ダイアログ名	用途
File1	仮想ドライブ	分散ファイル 1(ローカルディスク)の設定

DisMountOnOtherUserLoggedIn	なし	他のユーザーサインイン時に仮想ドライブを利用不可にする
WinBtnNoClose	なし	Windows メニューから、「シャットダウン、再起動、スリープ、休止」を削除する
NoLogOff	なし	Windows メニューと Ctrl+Alt+Delete で出る画面から、サインアウトを削除する

4.1.1. 仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定

仮想ドライブ新規作成時の各項目(タグ)とその属性です。属性値に仮想ドライブ新規作成時の既定値を指定します。

(表中の「例：」は ZEE の初期の既定値)

- 親タグ: <ZVDrive><Operation><DefaultValue>

タグ	属性	属性値
VDriveName	default	仮想ドライブ名を指定。 例: default="ZVDrive ドライブ"
VDriveLetter	default	仮想ドライブのドライブ文字「A～Z」を指定。 例: default="Z"
VDriveSize	default	仮想ドライブのサイズを指定。(500MB、1GB～30GB) 4.1.2. 仮想ドライブ新規作成画面における各項目の変更可否設定 に記載のように、<ZVDrive><Ui><Create><VDriveSizeOption>の value 属性で指定した GB 数に限り、30GB を超える値も指定可能。 例: default="500MB"
FolderRedirect	default	詳細設定：ZENMU モード、仮想ドライブへ移動するフォルダーの、リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダー。 on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。 例: default="on" リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーのうち、特定フォルダーを移動対象外にするとときの記載方法は、 6 リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーに関する設定 を参照。
ShowStorageIndicator	default	詳細設定：エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。 例: default="on"
NoDriveHDD		
NoDriveRemovable		
NoDriveCD		
NoDriveNetwork		
ReserveBackupArea	default	詳細設定：フルバックアップの PC にフルバックアップ用の領域を確保する on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。 例: default="on"
IdleTimerLockEnabled	default	詳細設定：自動ロックの一定時間 PC の操作が行われなかった際に PC をロックする on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。 例: default="on"
IdleTimerLockThreshold	seconds	自動ロックする際の閾値(秒) 300、900、1800、3600 のいずれかを指定可能。

		例: seconds="1800" (30 分間 PC の操作が行われなかった際に PC をロックする)
Rollback	default	ロールバック用ファイル作成 on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。 未指定の場合: "on"。
RollbackCommitNotifyCycle	default	ロールバックデータの自動保存時間(分)を指定。 "-1": 「自動保存しない」 未指定の場合: "10"(10 分ごと) 例: default="10" (10 分ごとに自動保存)
	add	リストに表示されない新規の通知時間(分)を追加。 追加した値を上記 default 値として指定可能。 例: add="10" (10 分ごとに自動保存を追加)
RollbackCommitNotifyCount Down	default	ロールバックデータ通知と通知後の自動保存間隔(秒)を指定。 "-1": 「通知のみ」、 "0": 「通知せず、すぐに保存」 未指定の場合: "0" (通知せず、すぐに保存) 例: default="0"
	add	リストに表示されない自動保存間隔(秒)を追加。 追加した値を上記 default 値として指定可能。 例: add="15" (15 秒後に自動保存を追加)
File1	path_type	属性: path に指定するファイルパスのタイプ "file"(ファイル名)/"folder"(フォルダー名)を指定。 例: path_type="folder"
	path	path_type の属性値に対応する、ファイル名/フォルダー名を指定。 ■ファイル名 例: path_type="file" path="%USERPROFILE%\AppData\Local\ZenmuTech\%USER NAME%.znm" ・ ファイル名の最後に拡張子「.znm」を付与 ■フォルダー名 例: path_type="folder" path="%USERPROFILE%\AppData\Local\ZenmuTech 環境変数の指定が可能。「ZENMU Virtual Drive の設定」画面には、環境 変数が展開されて表示されます。
File2Secondary	default	オフラインストレージ on(設定)/off(非設定)を指定。 例: default="on"
	device	オフラインストレージのストレージ "usbmemory" (USB メモリー) "iPhone" (iPhone USB) "unc" (Windows 共有フォルダー) を指定可能。 例: device="usbmemory"

	path_type	<p>属性 : device="usbmemory" / "unc"の場合、属性: path に指定するファイルパスのタイプを指定 "file": ファイル名, folder": フォルダー名 例: path_type="folder"</p> <p>属性 : device="iPhone"の場合は指定する必要なし</p>
	path	<p>属性 : device="usbmemory" / "unc"の場合、path_type の属性値に対応する、ファイル名/フォルダー名を指定。 ■ファイル名 例 : path_type="file" path="E:¥test¥%USERNAME%.znm" ・ ファイル名の最後に拡張子「.znm」を付与 ■フォルダー名 例 : path_type="folder" path="E:¥test¥%USERNAME%"</p> <p>・注意 : 予めフォルダー存在することを確認する。path で指定したフォルダーが存在しない場合は、仮想ドライブの作成がエラーとなる。 属性 : device="iPhone" の場合は指定する必要なし。</p>
SkipPasswordInput	default	<p>マウント時、設定変更時の Windows サインインをスキップするかどうかを設定する。 on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。 例: default="on"</p>
DisMountOnOtherUserLoggedIn		<p>他のユーザーサインイン時に仮想ドライブを利用不可にするかを設定する。 on(利用不可にする)/off(利用不可にしない)を指定。 例: default="on"</p>
DisMountOnDevicePlugout		<p>マウント : マウント中のストレージ切断時の動作 on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。 例: default="on"</p>
LockWindowsOnDevicePlugout		
WaitSecondsAfterDevicePlugout	default	<p>仮想ドライブを利用不可、Windows をロックするまでのタイムアウト時間(秒)を指定。 例: default="10"</p>
	add	<p>仮想ドライブを利用不可、Windows をロックするまでのタイムアウト時間において、デフォルトではリストに表示されないタイムアウト時間(秒)を追加。 デフォルトでリストに表示されるのは、すぐに実行、10 秒、20 秒、30 秒、1 分。 例: add="45"</p>
AskAppsToExitBeforeUnmount KillAppsBeforeUnmount DoNothingForAppExit	default	<p>アンマウント時に他アプリケーションの終了方法の on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。 例: default="on"</p> <p>注意 : 排他制御。最上位が"on"の場合は、後続の"on"は無効。全て"off"の場合は、最下位の設定が有効</p>
DeleteTempFolderOnUnmount	default	<p>アンマウント時に Windows の一時ファイルの削除の</p>

		on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。 例: default="on"
WinBtnNoClose	default	Windows メニューの「シャットダウン、再起動、スリープ、休止」を on(削除する) / off(残す)を指定。 例: default="off"
NoLogOff	default	Windows メニューと Ctrl+Alt+Delete で出る画面から、サインアウトを on(削除する) / off(残す)を指定。 例: default="off"

4.1.2. 仮想ドライブ新規作成画面における各項目の変更可否設定

仮想ドライブ新規作成で各項目の変更可否を、属性: disp, 属性値: "enabled"(変更可) / "disabled"(変更不可)で設定することができます。未指定の場合は"enabled"となります。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Ui>
    <Create>
      <VDriveName          disp="enabled" /><!-- 仮想ドライブ名 -->
      <VDriveLetter        disp="enabled" /><!-- 仮想ドライブのドライブ文字 -->
      <VDriveSize           disp="enabled" /><!-- 仮想ドライブのサイズ -->
      <VDriveSizeOption     value="50" />
      <!-- 詳細設定: ZENMU モード -->
      <FolderRedirect        disp="enabled" />
      <!-- 詳細設定: エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ -->
      <NoDriveHDD            disp="enabled" />
      <NoDriveRemovable      disp="enabled" />
      <NoDriveCD             disp="enabled" />
      <NoDriveNetwork        disp="enabled" />
      <ReserveBackupArea     disp="enabled" /><!-- 詳細設定: フルバックアップ -->
      <IdleTimerLock        disp="enabled" /><!-- 自動ロック -->
    </Create>
  </Ui>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Ui><Create>

タグ	属性	属性値
VDriveName	disp	仮想ドライブ新規作成での変更可否を指定。 "enabled": 変更可 "disabled": 変更不可
VDriveLetter		
VDriveSize		
FolderRedirect		
NoDriveHDD		
NoDriveRemovable		
NoDriveCD		
NoDriveNetwork		
ReserveBackupArea		
IdleTimerLock		
※自動ロック設定に対応		

VDriveSizeOption	value	仮想ドライブのサイズ指定に選択肢を追加 任意のサイズ (GB 単位) を整数で指定
------------------	-------	--

5. 仮想ドライブ変更画面における各項目の変更可否設定

仮想ドライブ変更画面において、各項目の変更可否を、属性: disp, 属性値: "enabled"(変更可) / "disabled"(変更不可)で設定することができます。未指定の場合は"enabled"となります。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Ui>
    <Change>
      <!-- 仮想ドライブ -->
      <VDriveName disp="enabled" />
      <VDriveLetter disp="enabled" />
      <Rollback disp="enabled" />
      <RollbackCommitNotifyCycle disp="enabled" />
      <RollbackCommitNotifyCountDown disp="enabled" />
      <!-- 外部ストレージのオフラインストレージ設定 -->
      <OfflineStorage disp="disabled" />
      <!-- マウント -->
      <SkipPasswordInput disp="enabled" />
      <DisMountOnDevicePlugout disp="enabled" />
      <LockWindowsOnDevicePlugout disp="enabled" />
      <WaitSecondsAfterDevicePlugout disp="disabled" />
      <!-- アンマウント -->
      <AskAppsToExitBeforeUnMount disp="disabled" />
      <KillAppsBeforeUnMount disp="disabled" />
      <DoNothingForAppExit disp="enabled" />
      <DeleteTempFolderOnUnMount disp="disabled" />
      <!-- その他 -->
      <NoDriveHDD disp="enabled" />
      <NoDriveRemovable disp="enabled" />
      <NoDriveCD disp="enabled" />
      <NoDriveNetwork disp="disabled" />
      <IdleTimerLock disp="enabled" /><!-- 自動ロック -->
      <WinBtnNoClose disp="enabled" />
      <NoLogOff disp="disabled" />
    </Change>
  </Ui>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Ui><Change>

変更画面において、以下の設定はカスタマイズできません。

タグ	項目	用途
VDriveSize	仮想ドライブ	仮想ドライブサイズ
FolderRedirect	ZENMU モード	リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダー

変更画面において、以下の項目設定を変更することができます。

タグ	属性	属性値
VDriveName	disp	仮想ドライブ変更画面での変更可否を指定。
VDriveLetter		

Rollback	"enabled": 変更可 "disabled": 変更不可
RollbackCommitNotifyCycle	
RollbackCommitNotifyCountDown	
OfflineStorage ※設定画面の外部ストレージのオフラインストレージ設定および、ZENMU ツールバーのオフラインストレージ、オフラインモードメニューに対応	
SkipPasswordInput	
DisMountOnDevicePlugout	
LockWindowsOnDevicePlugout	
WaitSecondsAfterDevicePlugout	
AskAppsToExitBeforeUnMount	
KillAppsBeforeUnMount	
DoNothingForAppExit	
DeleteTempFolderOnUnMount	
NoDriveHDD	
NoDriveRemovable	
NoDriveCD	
NoDriveNetwork	
IdleTimerLock ※自動ロック設定に対応	
WinBtnNoClose ※Ver1.1.3 以降で対応	
NoLogOff ※Ver1.1.3 以降で対応	

6. リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーに関する設定

Ver1.1.3 以降では、リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーに関して、以下の設定をすることができます。

- 仮想ドライブ新規作成時の既定値設定
- 現在のリダイレクト先がシステムドライブ(Cドライブ)や仮想ドライブでないときに、仮想ドライブの作成や削除をさせない、あるいは作成や削除時に警告を表示する設定
- 仮想ドライブ作成後の初回マウント時に移動対象から除外するフォルダーや、仮想ドライブ削除時に元に戻す対象から除外するフォルダーの設定

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <DefaultValue>
      <FolderRedirect default="on" e_opt="enabled" e_type="warning" />
    </DefaultValue>
    <FolderRedirect>
      <Exclude>
        <Name>Desktop</Name>
        <Name>Documents</Name>
        <Name>Downloads</Name>
        <Name>Favorites</Name>
        <Name>Music</Name>
        <Name>Pictures</Name>
        <Name>Videos</Name>
        <Name>Contacts</Name>
        <Name>Links</Name>
        <Name>SavedSearches</Name>
        <Name>SavedGames</Name>
      </Exclude>
    </FolderRedirect>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Operation><DefaultValue>

タグ	属性	属性値
FolderRedirect	default	仮想ドライブ新規作成時の、リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーのデフォルト値を設定。 on(チェック)/off(チェックアウト)を指定。本属性が未指定の場合は、"on"になる。 例: default="on"
	e_opt	仮想ドライブ新規作成時や削除時に、リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーのパスがシステムドライブ(Cドライブ)でも仮想ドライブでもないときにメッセージを表示するかどうかを設定。 "enabled" (表示する)/ "disabled" (表示しない)を指定。本属性が未指定の場合は、"enabled"と同じ動作になる。 例: e_opt="enabled" 本属性は、リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーがチェックありのときに有効。

	e_type	<p>e_opt 属性が"enabled"のとき、メッセージを表示する場合の処理を指定。 "error"(エラーメッセージを表示し、仮想ドライブの新規作成や削除をキャンセルする) / "warning"(警告メッセージを表示するが、仮想ドライブの新規作成や削除は継続する) 本属性が未指定の場合は、"error"と同じ動作になる。 例: e_type="error"</p> <p>本属性は、リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーがチェックありかつ、e_opt 属性が"enabled"のときに有効。</p>
--	--------	---

<ZVDrive><Operation><DefaultValue>の下に FolderRedirect タグを複数指定した場合は、最後の FolderRedirect タグが有効になります。

● 親タグ: <ZVDrive><Operation><FolderRedirect><Exclude>

タグ	値
Name	<p>リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーがチェックありの場合に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仮想ドライブ新規作成後の初回マウント時に、仮想ドライブに移動しない ● 仮想ドライブ削除時に、仮想ドライブから元に戻さない <p>フォルダーを指定する。</p> <p>指定可能なフォルダー、記載方法を以下に示す。</p> <p><Name>Desktop</Name> : デスクトップ(Desktop) フォルダー <Name>Documents</Name> : ドキュメント(Documents) フォルダー <Name>Downloads</Name> : ダウンロード(Downloads) フォルダー <Name>Favorites</Name> : お気に入り(Favorites) フォルダー <Name>Music</Name> : ミュージック(Music) フォルダー <Name>Pictures</Name> : ピクチャ(Pictures) フォルダー <Name>Videos</Name> : ビデオ(Videos) フォルダー <Name>Contacts</Name> : アドレス帳(Contacts) フォルダー <Name>Links</Name> : リンク(Links) フォルダー <Name>SavedSearches</Name> : 検索(Searches) フォルダー <Name>SavedGames</Name> : 保存したゲーム(Saved Games) フォルダー</p> <p>Name タグが指定なしの場合は、リダイレクト可能な Windows の既知のフォルダーはすべて移動対象になる。</p>

7. オフラインストレージの選択リストの設定

オフラインストレージ設定時に選択リスト表示する外部ストレージを指定し、表示することができます。未指定時は、USB メモリー、iPhone USB、Android Bluetooth、iPhone Bluetooth LE の 4 種を外部ストレージのリストとして表示します。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Ui>
    <SecondaryAvailability>
      <Storage type="usbmemory"/>
      <Storage type="iPhone"/>
      <Storage type="androidBT"/>
      <Storage type="iPhoneBLE"/>
      <Storage type="unc"/>
    </SecondaryAvailability>
  </Ui>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Ui><SecondaryAvailability>

タグ	属性	属性値	用途
Storage	type	"usbmemory"	USB メモリー
		"iPhone"	iPhone USB
		"androidBT"	Android Bluetooth
		"iPhoneBLE"	iPhone Bluetooth LE
		"unc"	Windows 共有フォルダー

8. 特定ドライブに対するエクスプローラーでの表示、アクセスの制御の設定

C:¥, D:¥等ドライブごとに、またはドライブの種類(コンピューター内蔵ディスク、USB メモリー、CD/DVD、ネットワークドライブ)とドライブの組み合わせで、エクスプローラーでの表示、アクセスを制御することが可能です。「設定 XML ファイル」に

<DriveAvailability>を追加します。コンピューター内蔵ディスクのドライブが C:¥, D:¥, E:¥の様に複数あり、かつ C:¥,D:¥をアクセス禁止、またはアクセス可能にする場合に本設定が利用できます。

なお、「ZENMU Virtual Drive の設定」画面でも類似した設定が可能です。異なる点は、-「その他」-「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」の設定で「コンピューター内蔵のハードディスクのドライブ」をチェックした場合は、C:¥, D:¥, E:¥全てのハードディスクのドライブへのアクセスが禁止されます。

仮想ドライブのドライブ文字以外が指定可能です。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <DriveAvailability>
      <Available>
        <HDD Drive="CD" />
        <Removable Drive="" />
        <CD Drive="" />
        <Network Drive="" />
        <ANY Drive="E" />
      </Available>
      <Unavailable>
        <HDD Drive="" />
        <Removable Drive="" />
        <CD Drive="" />
      </Unavailable>
    </DriveAvailability>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

```

    <Network    Drive="" />
    <ANY        Drive="CD" />
  </Unavailable>
</DriveAvailability>
</Operation>
</ZVDrive>

```

- 親タグ: <ZVDrive><Operation><DriveAvailability>に<Available>または<Unavailable>を指定することで、エクスプローラーで表示、アクセスの可否を指定できます。
 <Available><ドライブの種類 属性="属性値"> : 表示、アクセス可能
 <Unavailable><ドライブの種類 属性="属性値"> : 表示、アクセス不可能
- 注意事項
 - <Available>、<Unavailable>の両方に同一のドライブ文字が指定されていた場合は<Unavailable>が指定されたとみなし、指定されたドライブを常にアクセス禁止にします。
 - 「設定 XML ファイル」に記載した[ドライブの種類、ドライブ文字]の組み合わせを満たすドライブが PC に存在する場合、そのドライブ文字に関しては「設定 XML ファイル」の設定が優先されます。この場合、そのドライブ文字に関しては、「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」の設定は無効となります。
 例えば、以下の場合には設定 XML ファイルの設定が優先され、C ドライブにアクセス可能です。
 - ・ 設定画面 - 「その他」-「エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ」-「コンピューター内蔵のハードディスクのドライブ」のチェックをつけて、表示・アクセスを禁止する
 - ・ 設定 XML ファイル - C ドライブの表示・アクセスを許可する

- 親タグ: <ZVDrive><Operation><DriveAvailability>

タグ	属性	属性値
HDD	Drive	コンピューター内蔵ディスクのドライブ文字を指定 例 : Drive="DE"
Removable		USB メモリーのドライブ文字を指定 例 : Drive="F"
CD		CD/DVD ドライブのドライブ文字を指定 例 : Drive="I"
Network		ネットワークドライブのドライブ文字を指定 例 : Drive="KL"
ANY		ドライブ種類を問わず、全てのドライブのドライブ文字を指定 Drive="O"

9. 運用の詳細設定

9.1. 管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブの変更、削除、設定画面の表示を可能とする設定

Windows の「管理者」ユーザーのみが仮想ドライブの変更、削除を可能にすることが可能です。

また、Ver1.1.3 以降では、「管理者」ユーザーのみが設定画面の表示を可能にすることができます。

本設定を行った場合、Windows の「管理者」ユーザー以外が「ZENMU Virtual Drive 設定」画面で「変更」、「削除」ボタンをクリックしたときや設定画面を表示しようとしたときに、管理者権限を持つ別のアカウント、パスワードを入力し認証が必要となります。未指定の場合は、全ユーザーが仮想ドライブの変更、削除や設定画面の表示を行うことができます。

例)

```
<ZVDrive>
  <Operation>
    <AdminOnlyFunction drive_change="true" drive_delete="true" blocking_ui_setting="true" />
  </Operation>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Operation>

タグ	属性	属性値
AdminOnlyFunction	drive_change	"true"の場合は管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブを変更可能。未指定の場合の既定値は"false"。 例: drive_change="true"
	drive_delete	"true"の場合は管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブを削除可能。未指定の場合の既定値は"false"。 例: drive_delete="true"
	blocking_ui_setting ※Ver1.1.3 以降で有効	"true"の場合は管理者権限ユーザーのみ仮想ドライブの設定画面を表示可能。未指定の場合の既定値は"false"。 例: blocking_ui_setting="true"

9.2. マウント、アンマウント等のトリガーで任意のプログラムを起動する設定

マウント、アンマウント時等のトリガーで起動させるプログラム、バッチファイル、スクリプトファイルを指定することが可能です。またアンマウント直前に強制終了したいプログラム名を指定することも可能です。

ここで指定したプログラムは、サインインユーザーの権限で起動、実行されます。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <RunCommand timeout="60000">
      <ZenmuModeLogon> <!-- ZENMU モードでサインイン直後 -->
        <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp> <!-- 例：メモ帳の起動 -->
      </ZenmuModeLogon>
      <CreateBefore> <!-- 仮想ドライブ作成直前 -->
        <RunApp param="false" show="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </CreateBefore>
      <CreateAfter> <!-- 仮想ドライブ作成直後 -->
        <RunApp>c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </CreateAfter>
      <MountBefore> <!-- 仮想ドライブマウント直前 -->
        <RunApp param="false" wait="true" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </MountBefore>
      <MountAfter> <!-- 仮想ドライブマウント直後 -->
        <RunApp param="false" wait="false" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </MountAfter>
      <DeploymentBefore> <!-- フォルダーリダイレクション設定開始直前 -->
        <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </DeploymentBefore>
      <DeploymentAfter> <!-- フォルダーリダイレクション設定開始直後 -->
        <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </DeploymentAfter>
      <UnMountBefore> <!-- 仮想ドライブアンマウント直前 -->
        <KillAppName>c:\Windows\notepad.exe</KillAppName> <!-- KillAppName：プログラム(.exe)の強制終了。
<UnMountBefore>のみ指定可 -->
      </UnMountBefore>
      <UnMountAfter> <!-- 仮想ドライブアンマウント直後 -->
        <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </UnMountAfter>
      <ReMountBefore> <!-- 仮想ドライブ再マウント直前 -->
        <!-- 以下は OneDrive を終了させる例 -->
        <RunApp param="false" wait="true" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </ReMountBefore>
      <ReMountAfter> <!-- 仮想ドライブ再マウント直後 -->
        <RunApp param="false" wait="false" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </ReMountAfter>
      <RevertBefore> <!-- フォルダーリダイレクションを元に戻す直前(仮想ドライブ削除時に一度だけ実行) -->
        <RunApp param="false" wait="false" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </RevertBefore>
      <RevertAfter> <!-- フォルダーリダイレクションを元に戻した直後(仮想ドライブ削除時に一度だけ実行) -->
        <RunApp param="false" wait="false" check_exitcode="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </RevertAfter>
      <DeleteBefore> <!-- 仮想ドライブ削除直前に呼び出すコマンドを指定する -->
        <RunApp show="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </DeleteBefore>
      <DeleteAfter> <!-- 仮想ドライブ削除直後 -->
        <RunApp param="false" wait="false">c:\Windows\notepad.exe</RunApp>
      </DeleteAfter>
    </RunCommand>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

9.2.1. プログラムの起動トリガーとなるタグについて

マウント等のトリガーで任意のプログラム、バッチファイル、スクリプトファイルを起動するには、以下の指定をします。

<RunCommand><プログラムの起動トリガーのタグ><RunApp>

<RunCommand>タグの属性、属性値は以下の通りです。

- 親タグ: <ZVDrive><Operation>

タグ	属性	属性値
RunCommand	timeout	起動トリガーとなるタグ(<ZenmuModeLogon>等)で実行を指定したプログラムのプロセスが終了するまでの待ち時間(msec)を指定。 -1 を指定した場合は、待ち時間無制限。 未指定の場合: 60000(60 秒) 例: timeout="60000"

- <RunCommand>の注意事項

- 指定した時間内にプログラムが終了しない場合は、エラーと判断します。
- timeout の指定が-1 の場合、ZEE はプログラムの終了まで待ち続けます。
- timeout が未指定の場合は 60000(60 秒)が既定値としてセットされます。

マウント、アンマウント等のプログラムの起動トリガーのタグは、以下の種類があります。

- 親タグ: <RunCommand>

プログラムの 起動トリガーのタグ	トリガー
ZenmuModeLogon	ZENMU モードで ZENMU モードスタート画面が立ち上がった直後
CreateBefore	仮想ドライブ作成直前
CreateAfter	仮想ドライブ作成直後
MountBefore	マウント直前
MountAfter	マウント直後
DeploymentBefore	フォルダーリダイレクション設定開始直前、 仮想ドライブに移動するフォルダーおよび元に戻るフォルダーの移動開始直前
DeploymentAfter	フォルダーリダイレクション設定終了直後、 仮想ドライブに移動するフォルダーおよび元に戻るフォルダーの移動終了直後
UnMountBefore	アンマウント直前
UnMountAfter	アンマウント直後
ReMountBefore	再マウント直前
ReMountAfter	再マウント直後
RevertBefore	仮想ドライブ削除時に、フォルダーとファイルを元に戻そうとする直前。 ※仮想ドライブ削除にどの様に対処するか選択するオプションが表示された時に、 「フォルダーとファイルを元に戻す」を選んだ時のみ有効
RevertAfter	仮想ドライブ削除時に、フォルダーとファイルを元に戻し終えた直後。 ※仮想ドライブ削除にどの様に対処するか選択するオプションが表示された時に、 「フォルダーとファイルを元に戻す」を選んだ時のみ有効
DeleteBefore	仮想ドライブ削除直前
DeleteAfter	仮想ドライブ削除直後

- 以下の書式で設定します。詳細は [9.2.2](#) を参照してください。

```
<RunCommand><プログラムの起動トリガーのタグ>
  <RunApp>プログラムの絶対パス</RunApp>
</プログラムの起動トリガーのタグ></RunCommand>
```

9.2.2. プログラムの起動設定方法の詳細

プログラムの起動トリガーのタグの後に<RunApp>に属性と属性値、起動するプログラム、バッチファイル、スクリプトファイル(以下「プログラム等」)を指定します。

また、プログラムのトリガーのタグが<MountBefore>、<UnmountBefore>の時のみ、<KillAppName>タグを指定してマウント直前やアンマウント直前に強制終了したいプログラム等の実行ファイル名を指定することができます。

- 親タグ: <プログラムの起動トリガーのタグ>

タグ	属性	属性値
RunApp	show	起動するプログラムの表示可否 true(表示)[既定値]/false(非表示)を指定 例: show="true"
	param	起動するプログラムに、ZEE の引数(プログラムの起動トリガーを表す文字列/仮想ドライブ文字情報)を true(指定して起動)[既定値]/false(非表示)を指定 例: param ="true" ※ 9.2.3 参照
	wait	起動したプログラムの終了を true (待つ) [既定値]/false(待たない)を指定 例: wait ="true"
	check_exitcode	起動したプログラムの終了コードの確認可否 true(確認する) [既定値]/false(確認しない)を指定 例: check_exitcode ="true" ※wait="true"のときのみ有効。 ※true の場合は終了コード=0 でない場合はエラーと判断

タグ	値
KillAppName	マウント直前やアンマウント直前に強制終了したいプログラム等の実行ファイル名を指定。 指定なしの場合、強制終了する実行ファイルはなし。

- <RunApp>の書式

```
<RunApp param="false" show="false" wait="true" check_exitcode="false">起動するプログラムの絶対パス</RunApp>
```

- <KillAppName>の書式

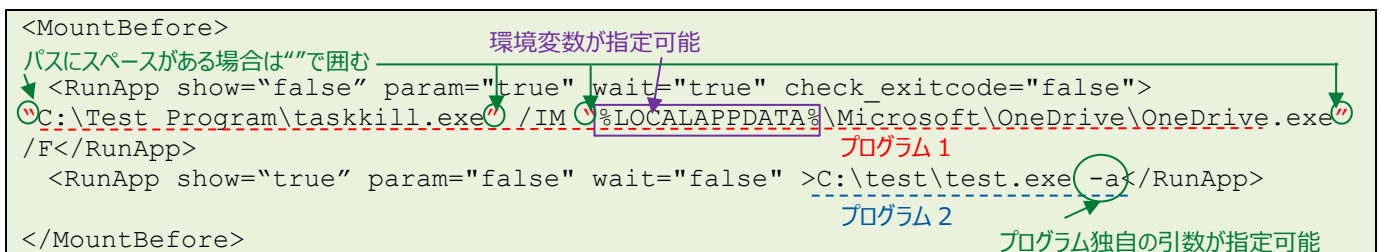
```
<KillAppName>explorer.exe</KillAppName>
```

- <RunApp>の注意事項

- 属性が未指定の場合は、既定値が設定されたとして動作します。
- プログラム等は絶対パスで指定し、絶対パスに空白文字を含む場合は""で囲む必要があります。また環境変数を使用することも可能です。

- 指定するプログラム独自の引数を指定することが可能です。(例：notepad.exe c:¥test.txt)
- 1つの<プログラムの起動トリガーのタグ>で複数のプログラム等を指定することが可能です。起動するプログラム等ごとに<RunApp>タグを設定してください。
- <RunApp>タグで複数のプログラム実行が指定された場合、先頭のプログラムから順番に実行します。
- 「check_exitcode = "true"」を指定した場合は、「プログラムの終了コード=0」をプログラムの正常終了と判定します。0以外の場合はエラーと判定します。
- なお、「check_exitcode」は「wait="true"」の場合のみ有効となります。
- 「check_exitcode = "true"」を指定してあるプログラムの実行がエラーと判定された場合、後続のプログラムは実行されません。
- タイムアウト発生時は、check_exitcode="false"のときは、後続のプログラムを実行します。check_exitcode="true"のときは、後続のプログラムは実行されません。
- プログラムの起動トリガーのタグが "Before"で終わる <CreateBefore>、<MountBefore>、<DeploymentBefore>、<UnMountBefore>、<ReMountBefore>、<DeleteBefore>の場合は、check_exitcode がエラーとなった場合は、その後のマウント等の処理はキャンセルされます。

例)



◇ プログラム 1: 「C:¥Test_Program¥taskkill.exe」の実行

- show="false" : C:¥Test_Program¥taskkill.exe は表示しない
- param="true" : ZEE の引数を指定する ※9.2.3 参照
- wait="true" : プログラムの実行の終了を待つ。
- check_exitcode="false" : プログラムの終了コードは確認しない。

◇ プログラム 2: 「C:¥test¥test.exe」の実行

- show="true" : C:¥test¥test.exe を表示する
- param="false" : ZEE の引数を指定しない※9.2.3 参照
- wait="false" : プログラムの実行の終了を待たない。

● <KillAppName>の注意事項

- プログラムのトリガーのタグが<MountBefore>、<UnMountBefore>の時のみ指定できます。

9.2.3. ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition の引数について

既定では ZEE の引数(プログラムの起動トリガーを表す文字列/仮想ドライブ文字情報)を引数として指定されます。
引数を指定せずに起動したい場合は<RunApp> タグで param="false" を指定して下さい。(9.2.2 参照)
ZEE の引数は以下の通りです。

-cmd [起動トリガーを表す文字列] -vdrive [仮想ドライブ文字]:

- 例: -cmd create_before -vdrive Z:

起動トリガーを表す文字列	起動トリガーのタグ	トリガー
zenumode_logon	ZenmuModeLogon	ZENMU モードで ZENMU モードスタート画面が立ち上がった直後
create_before	CreateBefore	仮想ドライブ作成直前
create_after	CreateAfter	仮想ドライブ作成直後
mount_before	MountBefore	マウント直前
mount_after	MountAfter	マウント直後
deployment_before	DeploymentBefore	フォルダーリダイレクション設定開始直前
deployment_after	DeploymentAfter	フォルダーリダイレクション設定終了直後
unmount_before	UnMountBefore	アンマウント直前
unmount_after	UnMountAfter	アンマウント直後
remount_before	ReMountBefore	再マウント直前
remount_after	ReMountAfter	再マウント直後
revert_before	RevertBefore	フォルダーリダイレクションを元に戻す直前
revert_after	RevertAfter	フォルダーリダイレクションを元に戻した直後
delete_before	DeleteBefore	仮想ドライブ削除直前
delete_after	DeleteAfter	仮想ドライブ削除直後

例)仮想ドライブが Z ドライブの場合

```
<CreateBefore>  
  <RunApp param="false" show="false" wait="false">C:\test\test.exe</RunApp>  
</CreateBefore>
```

起動されるプログラムとその引数

```
C:\test\test.exe -cmd create_before -vdrive Z:
```

9.3. アンマウント時に削除するファイルの指定

アンマウント時に、仮想ドライブ以外の任意のファイル、またはフォルダー内の全てのファイルを削除する指定が可能です。

Windows サインインユーザーアカウントで削除できるファイルのみ削除可能です。フォルダーを指定した場合は、そのフォルダー以下のファイル、サブフォルダーが削除されます(指定されたフォルダー自体は削除されません)。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <DeleteFolderFiles>
      <!-- インターネットエクスプローラーの一時ファイルを削除する -->
      <Folder path="%USERPROFILE%\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache" />
      <Folder path="c:\testFolder" />
      <File path="c:\testFolder\test.txt" />
    </DeleteFolderFiles>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Operation><DeleteFolderFiles>

タグ	属性	属性値
Folder	path	アンマウント時にフォルダー内の全てのファイルを削除するフォルダーを指定。 指定したフォルダー以下のサブフォルダー、ファイルをアンマウント時に削除。 (指定したフォルダー自体は削除対象外) 例: path="c:¥testFolder"
File	path	アンマウント時に削除するファイルを指定。 例: path="c:¥testFolder¥test.txt"

9.4. 仮想ドライブに移動するフォルダーの指定

ZEMU モードで仮想ドライブ作成時は、フォルダーを最大 **20** 個まで仮想ドライブに移動可能です。本機能は Windows の「ジャンクション(Junction)」機能を利用して実現しています。また、移動できるフォルダーは、C ドライブ直下以外の Windows サインインユーザーでアクセス(コピー、削除)できるフォルダーのみです。

「設定 XML ファイル」に追加指定したフォルダーは、次回に ZEMU モードスタート画面で「START」をクリックときに仮想ドライブに移動されます。一方、「設定 XML ファイル」から削除したフォルダーは、次回に ZEMU モードスタート画面で「START」をクリックときに仮想ドライブから元の位置に戻されます。

Microsoft Outlook 以上の Outlook データフォルダー(%LOCALAPPDATA%\Microsoft\Outlook)を仮想ドライブの「Z:\Users\[username]\Junction\Outlook」に移動し、Outlook の OST ファイルが仮想ドライブ上で正常に読み込み、Outlook が動作することを確認済みです。Outlook 側の設定変更は不要です。

例) Microsoft Outlook の Outlook のフォルダーを仮想ドライブに移動

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <JunctionFolders>
      <Junction name="Outlook" source="%LOCALAPPDATA%\Microsoft\Outlook" target="Outlook" />
    </JunctionFolders>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

● 親タグ: <ZVDrive><Operation><JunctionFolders>

タグ	属性	属性値
Junction	name	移動するフォルダー名を指定。(本値は内部的に利用)
	source	移動するフォルダーのパスを指定。 "%LOCALAPPDATA%" 等の環境変数が利用可能。
	target	移動先のサブフォルダー名を指定。 このタグで指定されたフォルダーは、仮想ドライブの Z:\Users\[ユーザー名]\Junction フォルダー配下(仮想ドライブが Z ドライブの場合)に移動される。 例 : target="outlook" Z:\Users\[ユーザー名]\Junction\outlook フォルダーが作成される source で指定されたフォルダーが「outlook」フォルダー移動される。

9.5. バッファロー社製暗号化 USB RUF3-HS 使用の設定

オフラインストレージに設定する USB メモリーに暗号化 USB メモリーを指定したい場合は、バッファロー社製暗号化 USB RUF3-HS シリーズが動作確認済みです。ただし、「設定 XML ファイル」に設定を追加する必要があります。

仮想ドライブ作成後に RUF3-HS が USB メモリーを暗号化している場合は、自動的に復号化プログラムを起動してパスワード入力画面を表示し、復号化が確認できた後に仮想ドライブをマウント等することが可能となります。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <UsbDevConfig>
      <Vendor VendorId="0411" Name="Buffalo">
        <Product DecryptionProgramPath="\OPEN_HS.exe">
          <ProductId>026F</ProductId>
        </Product>
      </Vendor>
    </UsbDevConfig>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

● 親タグ: <ZVDrive><Operation><UsbDevConfig>

タグ	属性	値	意味
<Vendor>	VendorId	411	バッファロー社製 USB の VendorId
	Name	Buffalo	ベンダーの名前
<Product>	DecryptionProgramPath	¥OPEN_HS.exe	復号化プログラムのファイル名
<ProductId>	-	026F	RUF3-HS の ProductId

9.6. 特定のアプリケーションをアンマウント時に終了対象外に指定

「ZENMU Virtual Drive の設定」-「アンマウント」-「アプリケーションの終了を確認する」を指定した場合に、有効となる設定です。アンマウント時に終了確認を表示させたくないアプリケーション、または終了させたくないアプリケーションが存在する場合、特定のアプリケーションを終了対象外に指定することが可能です。

指定個数に上限はなく、複数指定することも可能です。

例) メモ帳と Outlook を終了対象外にする設定

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <AppShutdownExceptionList>
      <App name="notepad.exe" />
      <App name="OUTLOOK.exe" />
    </AppShutdownExceptionList>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

● 親タグ: <ZVDrive><Operation><AppShutdownExceptionList>

タグ	属性	属性値
App	name	終了対象外にするアプリケーションの実行ファイルを指定。 <App>タグを複数行記述し、複数のアプリケーションを指定することが可能。 例: メモ帳 : App Name="notepad.exe" Outlook : App Name="OUTLOOK.EXE"

10. ZENMU モードスタート画面の設定

ZENMU モードで仮想ドライブを作成した場合、Windows サインイン時に表示される ZENMU モードスタート画面において、以下の設定が可能です。

- ZENMU モードスタート画面のボタン文字列設定
- 「ブラウザの起動」「デスクトップ/エクスプローラーの表示...」「インターネットのプロパティを起動」メニューを表示
- メニューから、任意のアプリケーションを起動する設定

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Ui>
    <Shell>
      <TitleStart>スタート</TitleStart>
      <TitleExit>終了</TitleExit>
      <BrowserExec disp="enabled"/>
      <ExplorerExec disp="enabled"/>
      <InetPropExec disp="disabled"/>
      <SettingButton disp="disabled"/>
      <RunSpecifyCommand>
        <RunApp name="test">"C:\Windows\notepad.exe" test.txt</RunApp>
      </RunSpecifyCommand>
    </Shell>
  </Ui>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Ui><Shell>

タグ	値
TitleStart	スタートボタンの文字列を設定。 例: <TitleStart>スタート</TitleStart>
TitleExit	Windows 終了時のボタンの文字列を設定。 例: <TitleExit>終了</TitleExit>

タグ	属性	属性値
BrowserExec	disp	ZENMU モードでの ZENMU モードスタート画面で縦三点リーダー「:」を選択したときに、「ブラウザの起動」メニューを表示するか指定する。 "enabled": 表示、"disabled": 非表示。デフォルトは、"enabled": 表示。 例) disp="enabled"
ExplorerExec	disp	ZENMU モードでの ZENMU モードスタート画面で Ctrl を押しながら右クリックしたときに、「デスクトップ/エクスプローラーの表示...」メニューを表示するか指定する。 "enabled": 表示、"disabled": 非表示。デフォルトは、"enabled": 表示。 例) disp="enabled"
InetPropExec	disp	ZENMU モードでの ZENMU モードスタート画面で縦三点リーダー「:」を選択したときに、「インターネットのプロパティを起動」メニューを表示するか指定する。 "enabled": 表示、"disabled": 非表示。デフォルトは、"enabled": 表示。 例) disp="disabled"
SettingButton	disp	ZENMU モードでの ZENMU モードスタート画面で、右上に設定画面を表示するためのアイコンを表示するかどうか指定する。 "enabled": 表示、"disabled": 非表示。デフォルトは、"disabled": 非表示。

		例) disp="disabled"
--	--	--------------------

- 親タグ: <ZVDrive><Ui><Shell><RunSpecifyCommand>

タグ	属性	属性値
RunApp	name	ZENMU モードでの ZENMU モードスタート画面で縦三点リーダー「⋮」を選択したときに表示されるメニューの表示テキストを指定する。 例: name="test"

タグ	値
RunApp	<p>起動プログラムの絶対パスを指定します。起動プログラムのパラメータを追記することもできます。</p> <p>※起動プログラムの絶対パスに空白文字を含む場合は、""で囲む必要があります。</p> <p>※起動プログラムのパスに環境変数を含めることができます。環境変数展開後の絶対パスに空白文字を含む場合は、""で囲む必要があります。</p> <p>例:</p> <pre><RunApp>"%ProgramFiles%\Google\Chrome\Application\chrome.exe" </RunApp> <RunApp>"C:\Windows\notepad.exe" test.txt</RunApp></pre>

<ZVDrive><Ui><Shell><RunSpecifyCommand>の RunApp タグで最大 10 個のアプリケーション起動を指定できます。<RunApp>…<RunApp>を 11 個以上記載した時は、最初の 10 個のみ有効となります。

11. 仮想ドライブ作成後の設定変更

Ver1.1.3 以降では、仮想ドライブ作成後に、設定画面を表示せずに一部の設定項目の設定変更をすることができます。

設定は、次の Windows サインイン直後に反映されます。

ZENMU モードで仮想ドライブ作成時に、[4.1.1. 仮想ドライブ新規作成時の各項目の既定値の設定](#)による設定と本章に記載の設定を両方行った場合は、本章に記載の設定が仮想ドライブの設定になります。

本章に対応する記載が設定 XML ファイルにない場合は、仮想ドライブの設定は変更されません。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <!-- 仮想ドライブ作成後の設定変更 -->
  <VirtualDrive>
    <!-- Domain 属性と User 属性の両方が存在しない場合、すべての Windows ユーザーが設定変更対象になる。 -->
    <!-- ドメインに所属していない PC の場合、Domain 属性と PC のコンピューター名が一致すれば変更対象になる。 -->
    <!-- 仮想ドライブ：仮想ドライブ基本設定 -->
    <!-- VDriveName：仮想ドライブ名 -->
    <BasicSettings VDriveName="ZVDrive ドライブ" Domain="zenmotech.com" User="zee"/>

    <!-- 仮想ドライブ：ロールバック -->
    <Rollback Enable="true" CommitNotifyPeriodMin="10" CommitCountdownSec="0"
Domain="zenmotech.com" User="zee" />

    <!-- マウント：マウント中のストレージ切断の動作 -->
    <!-- DisMount          : 仮想ドライブを利用不可にする -->
    <!-- LockWindows       : Windows をロックする -->
    <!-- WaitCountdownSec  : 仮想ドライブを利用不可、Windows をロックするまでのタイムアウト値 -->
    <StorageDisconnectionWhileMounted DisMount="true" LockWindows="false"
WaitCountdownSec="10"/>

    <!-- アンマウント：アンマウント -->
    <!-- AppsShutdown="AskApps"   : アプリケーションの終了を確認する -->
    <!-- AppsShutdown="KillApps"  : 仮想ドライブを利用しているアプリケーションを強制終了する -->
    <!-- AppsShutdown="DoNothing" : アプリケーションの終了を行わない -->
    <!-- DeleteTempFolder        : アンマウント後に Windows の一時ファイルを削除する -->
    <UnMount AppsShutdown="DoNothing" DeleteTempFolder="false" Domain="zenmotech.com"
User="zee"/>

    <!-- その他：エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ -->
    <!-- HDDrive                : コンピューター内蔵のハードディスクドライブ -->
    <!-- CDDrive                : CD/DVD のドライブ -->
    <!-- RemovableDrive         : USB メモリー、リムーバブルディスクのドライブ -->
    <!-- NetworkDrive           : ネットワークドライブ -->
    <AccessProhibitedOnExplorer HDDrive="true" CDDrive="true" RemovableDrive="true"
NetworkDrive="false" Domain="zenmotech.com" User="zee"/>

    <!-- その他：自動ロック -->
    <!-- Enabled                : 一定時間 PC の操作が行われなかった際に PC をロックするの有効/無効 -->
    <!-- Threshold              : 自動的にロックする際の閾値 ( 秒 )。300、900、1800、3600 を指定可能。 -->
    <IdleTimerAutoLock Enabled="true" Threshold="1800" Domain="zenmotech.com" User="zee"/>
```

```

<!-- その他：Windows スタートメニュー -->
<!-- WinBtnNoClose   : シャットダウン、再起動、スリープ（休止）を非表示にする -->
<!-- NoLogOff        : サインアウトを非表示にする -->
<WinStartMenu WinBtnNoClose="false" NoLogOff="false" Domain="zenmotech.com" User="zee"/>

<!-- マウント -->
<!-- DisMountOnOtherUserLoggedOn : 他のユーザーサインイン時に仮想ドライブを利用不可にする -->
<Mount DisMountOnOtherUserLoggedOn="true"/>
</VirtualDrive>
</ZVDrive>

```

仮想ドライブ作成後に、設定画面を表示せずに設定変更できるのは以下の項目です。

● 仮想ドライブの設定画面で設定可能な項目

仮想ドライブの設定画面で設定可能な項目のうち、本機能で設定変更できるのは以下の項目です。

タグ名	設定画面のタイトル	設定変更可能な項目
BasicSettings	仮想ドライブ：仮想ドライブ基本設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 仮想ドライブ名
Rollback	仮想ドライブ：ロールバック	<ul style="list-style-type: none"> ● ロールバック用のファイルを作成する ● ロールバックデータの自動保存の保存間隔 ● 通知と通知後の自動保存
StorageDisconnection WhileMounted	マウント：マウント中のストレージ切断の動作	<ul style="list-style-type: none"> ● 仮想ドライブを利用不可にする ● Windows をロックする ● 仮想ドライブを利用不可、Windows をロックするまでのタイムアウト時間
UnMount	アンマウント：アンマウント	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションの終了を確認する ● 仮想ドライブを利用しているアプリケーションを強制終了する ● アプリケーションの終了を行わない ● アンマウント後に Windows の一時ファイルを削除する
AccessProhibitedOnExplorer	その他：エクスプローラー上で非表示、アクセス禁止にするドライブ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューター内蔵のハードディスクドライブ ● CD/DVD のドライブ ● USB メモリー、リムーバブルディスクのドライブ ● ネットワークドライブ
IdleTimerAutoLock	その他：自動ロック	<ul style="list-style-type: none"> ● 一定時間 PC の操作が行われなかった際に PC をロックする ● 自動的にロックする際の閾値
WinStartMenu	その他：Windows スタートメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ● シャットダウン、再起動、スリープ（休止）を非表示にする ● サインアウトを非表示にする

● 仮想ドライブの設定画面で設定できない項目

仮想ドライブの設定画面で設定できない項目のうち、本機能で設定変更できるのは以下の項目です。

タグ名	設定変更可能な項目
-----	-----------

Mount	● 他のユーザーサインイン時に仮想ドライブを利用不可にする
-------	-------------------------------

各設定項目の設定変更方法は、以下のようになります。

親タグ: <ZVDrive><VirtualDrive>

タグ	属性	設定値
BasicSettings	VDriveName	仮想ドライブ名。 例) VDriveName="ZVDrive ドライブ"
	Domain	設定変更対象ユーザーの Windows ドメイン名。ドメインに所属していない PC の場合は、コンピューター名。 例: Domain="zenmotech.com" 属性 User を指定する場合は、本属性は必須。 Domain 属性と User 属性の両方が存在しない場合、すべての Windows ユーザーが設定変更対象になる。
	User	設定変更対象ユーザーの Windows ユーザー名。 例: User="zvd" 属性 Domain を指定する場合は、本属性は必須。
Rollback	Enable	ロールバック用ファイル作成をするかどうか。true(作成する) / false(作成しない)を指定。 例) Enable="true"
	CommitNotifyPeriodMin	ロールバックデータの自動保存間隔 (分)。 -1 を指定した場合、自動保存しない設定になる。 例) 保存間隔 10 分の場合、CommitNotifyPeriodMin="10"
	CommitCountdownSec	ロールバックデータ通知と通知後の自動保存間隔(秒)を指定。-1 を指定した場合は「通知のみ」、0 を指定した場合は「通知せず、すぐに保存」になる。 例) 自動保存間隔 10 秒の場合、CommitCountdownSec="10"
	Domain User	BasicSettings タグの、Domain、User 属性欄を参照
StorageDisconnection WhileMounted	DisMount	「マウント中のストレージ切断で、仮想ドライブを利用不可にする」の設定。"true"で利用不可にする、"false"で利用不可にしない。 例) DisMount="true"
	LockWindows	「マウント中のストレージ切断で、Windows をロックする」の設定。"true"でロックする、"false"でロックしない。 例) LockWindows="false"
	WaitCountdownSec	仮想ドライブを利用不可、Windows をロックするまでのタイムアウト値 (秒)。0 を指定した場合は、「すぐに実行」になる。 例) タイムアウト 10 秒の場合、WaitCountdownSec="10"
	Domain User	BasicSettings タグの、Domain、User 属性欄を参照
UnMount	AppsShutdown	アンマウント時に、他アプリケーションの終了をどのように行うかを設定する。 "AskApps" : アプリケーションの終了を確認する "KillApps" : 仮想ドライブを利用しているアプリケーションを強制終了する "DoNothing" : アプリケーションの終了を行わない

		例) アプリケーションの終了を行わない場合、 AppsShutdown="DoNothing"
	DeleteTempFolder	アンマウント後に Windows の一時ファイルを削除するかどうか。"true"で削除する、"false"で削除しない。 例) 削除しない場合、DeleteTempFolder="false"
	Domain User	BasicSettings タグの、Domain、User 属性欄を参照
AccessProhibitedOnExplorer	HDDrive	エクスプローラー上で、コンピューター内蔵のハードディスクドライブを非表示、アクセス禁止にするかどうか。"true"で非表示、アクセス禁止。"false"で表示、アクセス可能。 例) 非表示、アクセス禁止の場合、HDDrive="true"
	CDDrive	エクスプローラー上で、CD/DVD のドライブを非表示、アクセス禁止にするかどうか。"true"で非表示、アクセス禁止。"false"で表示、アクセス可能。 例) 非表示、アクセス禁止の場合、CDDrive="true"
	RemovableDrive	エクスプローラー上で、USB メモリー、リムーバブルディスクのドライブを非表示、アクセス禁止にするかどうか。"true"で非表示、アクセス禁止。"false"で表示、アクセス可能。 例) 非表示、アクセス禁止の場合、RemovableDrive="true"
	NetworkDrive	エクスプローラー上で、ネットワークドライブを非表示、アクセス禁止にするかどうか。"true"で非表示、アクセス禁止。"false"で表示、アクセス可能。 例) 表示、アクセス可能な場合、NetworkDrive="true"
	Domain User	BasicSettings タグの、Domain、User 属性欄を参照
IdleTimerAutoLock	Enabled	「一定時間 PC の操作が行われなかった際に PC をロックする」の設定。"true"で有効、"false"で無効。 例) 有効にする場合、Enabled="true"。
	Threshold	自動的にロックする際の閾値(秒)。300、900、1800、3600 のいずれかを指定可能。 例) 閾値を 1800 秒(30 分)にする場合、Threshold="1800"。
	Domain User	BasicSettings タグの、Domain、User 属性欄を参照
WinStartMenu	WinBtnNoClose	Windows メニューから、「シャットダウン、再起動、スリープ、休止」を削除するかどうか。"true"で削除する、"false"で削除しない。 例) 削除しないとき、WinBtnNoClose="false"
	NoLogOff	Windows メニューと Ctrl+Alt+Delete で出る画面から、サインアウトを削除するかどうか。"true"で削除する、"false"で削除しない。 例) 削除しないとき、NoLogOff="false"
	Domain User	BasicSettings タグの、Domain、User 属性欄を参照
Mount	DisMountOnOtherUserLoggedIn	他のユーザーサインイン時に仮想ドライブを利用不可にするか。"true"で利用不可にする、"false"で利用不可にしない。 例) 利用不可にするとき、DisMountOnOtherUserLoggedIn="true"

	Domain User	BasicSettings タグの、Domain、User 属性欄を参照
--	----------------	--

● 仮想ドライブの設定画面で設定できない項目

親タグ: <ZVDrive><VirtualDrive>

タグ	属性	属性値
Mount	DisMountOnOtherUserLoggedIn	他のユーザーサインイン時に仮想ドライブを利用不可にする。 "true"で他のユーザーサインイン時に仮想ドライブを利用不可にする、 "false"で他のユーザーサインイン時も仮想ドライブは利用可能。 例：DisMountOnOtherUserLoggedIn="true"

12. Windows サインイン時に仮想ドライブ作成を促す設定

ZEE インストール時に本章に記載の設定を設定 XML ファイルに記載した上で、

- ZEE インストール時に、インストール用 XML ファイルを指定する
- ZEE インストール後に、管理者権限のコマンドプロンプトで、

「C:\Program Files\ZenmuTech\ZVDrive\bin\ChgUsersShell.exe --set」を実行する

のどちらかを行うことで、Windows のサインイン時に仮想ドライブ作成画面を表示ようになります。この場合は、デスクトップが表示されないの、サインイン時にユーザーに仮想ドライブ作成を促すことができます。

詳細は、ZEE インストール時に設定する場合は「ZEE 管理者マニュアル_Ver1.1_インストール・仮想ドライブ作成・仮想ドライブ削除・アンインストール編 1.2 章」を、ZEE インストール後に設定する場合は「ZEE 管理者マニュアル_Ver1.1_運用編 3.4. 章」をご参照ください。

設定 XML ファイルに本章に記載の設定がない場合は、Windows サインイン時に仮想ドライブ作成を促す設定はなしになります。

例 1) すべての Windows ユーザーに対して本設定を有効にする場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <ForcedCreateVdrive enable="true">
    </ForcedCreateVdrive>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

例 2) 本設定を指定 Windows ユーザーには無効、それ以外のユーザーには有効にする場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <ForcedCreateVdrive enable="true">
      <AvailableNoVDriveUsers>
        <User user_name="testUser" />
        <User domain_name="ZenmuTech" user_name="testAdmin" />
      </AvailableNoVDriveUsers>
    </ForcedCreateVdrive>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Operation>

タグ	属性	属性値
ForcedCreateVdrive	enable	Windows サインイン時に仮想ドライブ作成を促す設定を有効にするかどうか。 "true": 有効、"false": 無効。デフォルトは、"false": 無効。 例) enable="true"

- 親タグ: <ZVDrive><Operation><ForcedCreateVdrive><AvailableNoVDriveUsers>

タグ	属性	属性値
User	domain_name	Windows サインイン時に仮想ドライブ作成を促す設定が有効な場合、この設定を無効にする Windows ユーザーのドメイン名。

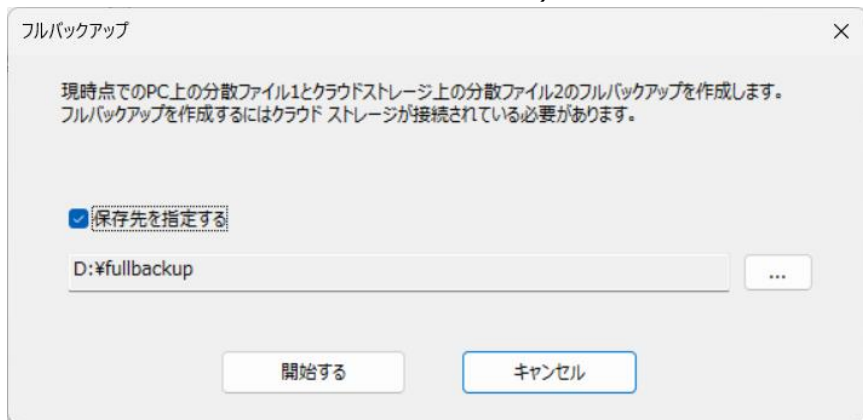
		domain_name 未指定の場合は、ご利用 PC の user_name をこの設定を無効にするユーザーとします。 例: domain_name="ZenmuTech"
	user_name	Windows サインイン時に仮想ドライブ作成を促す設定が有効な場合、この設定を無効にする Windows のユーザー名。 例: user_name="testUser"

<AvailableNoVDriveUsers>により、最大 5 Windows ユーザーについて、Windows サインイン時に仮想ドライブ作成を促す設定を無効にできます。

13. フルバックアップを保存する時のデフォルト保存先設定

Ver1.1.3 以降では、フルバックアップを保存する時に、「保存先を指定する」にチェックをしたときのデフォルトの保存先フォルダーを指定することができます。

デフォルトの保存先フォルダーとして、Windows 共有フォルダーや、ストレージ(USB メモリー、外付け HDD/SSD、分散ファイル 1 の保存先と異なるドライブの内蔵ストレージなど)が指定可能です。



例 1) デフォルトの保存先を Windows 共有フォルダーにする場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Ui>
    <FullBackupRestore>
      <ExternalStorage device="unc" folder_path="//UncServ\fullbackup"/>
    </FullBackupRestore>
  </Ui>
</ZVDrive>
```

例 2) デフォルトの保存先をストレージにする場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Ui>
    <FullBackupRestore>
      <ExternalStorage device="DiskDrive" folder_path="D:\fullbackup"/>
    </FullBackupRestore>
  </Ui>
</ZVDrive>
```

● 親タグ: <ZVDrive><Ui><FullBackupRestore>

タグ	属性	属性値
ExternalStorage	device	フルバックアップ保存先のストレージタイプ。 本値は、以下を指定可能。 "unc" : Windows 共有フォルダー。 "DiskDrive" : ストレージ 例) device="unc"、device="DiskDrive"
	folder_path	フルバックアップを保存するときの、デフォルトの保存先フォルダー。保存先の指定は、絶対パスです。相対パスの指定は無効です。 Windows 共有フォルダーがデフォルトの保存先の場合は、 folder_path=" ¥¥UncServ¥fullbackup"

		<p>のように、パスの先頭 2 文字を¥¥ にします。</p> <p>ストレージがデフォルトの保存先の場合は、 <code>folder_path="D:¥fullbackup"</code> のように、[ドライブ文字]:¥[パス]の形式で指定します。</p>
--	--	--

ExternalStorage タグを複数指定した場合は、最後に指定したものだけ有効です。

なお、Windows 共有フォルダーやストレージに保存したフルバックアップは、仮想ドライブの削除では削除されません。仮想ドライブ削除により不要になった Windows 共有フォルダーやストレージのフルバックアップは、お客様で削除していただくようにお願いします。

14. システムドライブの空き容量が少ないときに警告メッセージを表示する設定

Ver1.1.3 以降では、システムドライブの空き容量が設定値を下回っているときに、警告メッセージを表示するかどうかの設定です。

マウント、アンマウント、再マウント時に設定値を下回っていれば、警告メッセージを表示する設定の場合は、警告メッセージを表示します。

例)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Operation>
    <CapacityWarning check="true">
      <CheckVolume type="GB" value="30" />
    </CapacityWarning>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

- 親タグ: <ZVDrive><Operation>

タグ	属性	属性値
CapacityWarning	check	システムドライブの空き容量が設定値を下回っているときに、警告メッセージを表示するかどうか。 "true": 表示する、"false": 表示しない。デフォルトは、"false": 表示しない。 例) check="true"

- 親タグ: <ZVDrive><Ui><CapacityWarning>

タグ	属性	属性値
CheckVolume	type	属性 value の単位。 "TB": テラバイト、"GB": ギガバイト、"MB": メガバイト、"KB": キロバイト。 例) type="GB" 1TB は 1024GB、1GB は 1024MB、1MB は 1024KB、1KB は 1024 バイトです。
	value	空き容量の設定値。1 以上の整数を指定可能。 例) value="30"

たとえば、<CheckVolume type="GB" value="30" />のときは、空き容量が 30GB 未満のときに警告メッセージを表示します。

CheckVolume タグは、最大 10 個まで指定可能です。11 個以上指定した場合は、最初の 10 個のみ有効です。

15. 付録

15.1. VPN クライアントを ZENMU モードスタート画面に表示する場合の設定方法

VPN 認証用に、Windows サインイン直後の ZENMU モードスタート画面で VPN クライアントを表示する場合は、「設定 XML ファイル」に記載が必要となります。

Windows サインイン直後の ZENMU モードスタート画面に VPN クライアントを表示する手順は、以下の通りです。

「設定 XML ファイル」に、以下の太字部分のような記載を行います。

これは、ZENMU モードでマウント前に VPN 認証が必要な場合、VPN クライアントを ZENMU モードスタート画面で起動するためのものです。

例) Pulse Secure を ZENMU モードスタート画面に表示する設定

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<ZVDrive>
  <Log>
    <SavePeriod>30</SavePeriod>
  </Log>
  <Operation>
    <RunCommand timeout="60000">
      <ZenmuModeLogon>
        <RunApp param="false" show="true" wait="false">"C:\Program Files (x86)\Common Files\Juniper Networks\JamUi\Pulse.exe" -show</RunApp>
      </ZenmuModeLogon>
    </RunCommand>
  </Operation>
</ZVDrive>
```

青字部分をご利用の VPN クライアントの実行ファイルに置き換えます。実際の起動には引数が必要となることがあるため、当該実行ファイルのデスクトップ等のショートカットを右クリックしてプロパティを表示し、「ショートカット」-「リンク先」をコピーし、青字部分に貼り付けて下さい。

例：VPN ソフト – Pulse Secure の場合

引数 “-show”が必要となります。



ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition Ver1.1.3

設定 XML ファイルによるカスタマイズ

発行日：2023 年 8 月 28 日

発行者：株式会社 ZenmuTech

連絡先：〒104-0061

東京都中央区銀座 8-17-5 THE HUB 銀座 OCT 804

TEL 03-6260-6195

FAX 03-6260-6197

URL: <https://zenmutech.com>

email: zvd-support@zenmutech.com

無断複製・転載を禁じます。ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition は、株式会社 ZenmuTech の製品です。
本手順書記載のサーバー製品、OS、アプリケーション等各製品の著作権は、その製造元もしくは販売元に準ずるものとなります。